

春日部麗しの杜・夕涼み会！

● 35本の樹名板、取り付けは約20分で・・・！

今日7月2日(土)午後4時から春日部市内の川久保公園「春日部麗しの杜」の樹名板取り付けに、春日部地区浦高会の三輪昭彦会長以下7名の会員と川久保自治会の磯野昂三自治会長以下有志の方2名が参加してくれました。

「春日部麗しの杜」は、本部同窓会「浦高百年の森づくり事業」に呼応して、春日部地区浦高会の創立10周年記念事業として昨年10月からスタートした地域貢献事業なのですが、地元・川久保自治会有志の皆様にもご協力いただきながら、地域の杜を10年間育てていこうという事業です。事業地の川久保公園は春日部市から一時使用をさせていただき、植栽を植え続けていこうと考えています。

昨年10月31日の記念植樹祭では、「ヤマザクラ」「トチノキ」「スダジイ」の3本の記念樹木と30本の中木、さらに低木20本を植えさせていただきました。今年は4月にお花見を兼ねて樹名板の取り付け等を予定していたのですが、東日本大震災の影響

で今日まで順延していたものです。

今回は「イロハモミジ」「エゴノキ」「エノキ」「カツラ」「コナラ」「シラガシ」「シャラ」「ヤマザクラ」の

8種類の樹名板【写真①】35枚（4月に捕植した5本を含む）を作成させていただきました。

午後4時、川久保公園に三輪会長以下の会員と川久保自治会有志の磯野自治会長たちが集まりエントランス部分の築山から、植栽した木々に樹名板を取り付けます。【写真②：エントランス部分の築山で「イロハモミジ」の樹名板を取り付ける磯野自治会長(中央)、後ろ姿は三輪会長(左)】



6月初旬に草刈をしてもらった時点ではきれいだっただ築山も一カ月で草がかなり伸びていました。そんな中でも、植樹した35本は元気に育っています。

【写真③：樹名板取り付け後のイロハモミジ】

エントランス部分は9本に樹名板を取り付け、続いて公園中央の築山に移動しました。

10人で行う作業はスピーディーで、予定していた半分の時間で全ての木々に樹名板を取り付けることができました。【写真④：最後の樹名板を取り付ける鈴木孝さん(10期、中央)と参加者の皆さん】



たかが8種類の木なのですが、意外と木の種類を知らないものですね。「エゴノキ」「エノキ」「カツラ」などはなかなか見分けが付きませんでした。【写真⑤：春日部地区浦高会の参加者の皆さん】



作業を終えて4時半から近くの蕎麦屋で「夕涼み会」となりました。鳥井・田村両副会長に参加していただいた6月12日の「みどりの再生とことんトーク・活動報告会」の話などで盛り上がりました。